

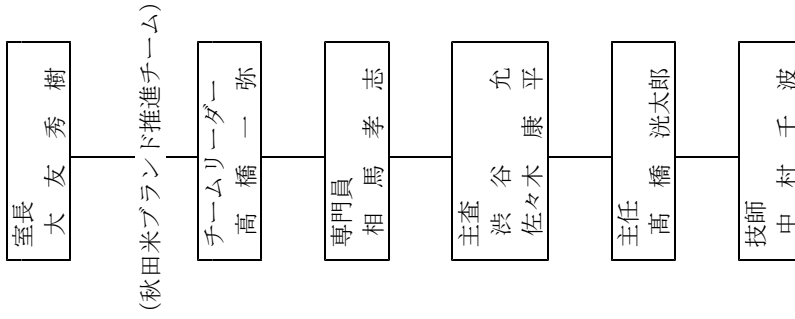
水田総合利用課
秋田米ブランド推進室

水田総合利用課秋田米ブランド推進室

(令和5年4月1日現在)

主な所掌事務

- (秋田米ブランド推進チーム)
- ・「サキホコレ」のブランド化推進
- ・秋田米新品種ブランド化戦略本部の運営



事業名	サキホコレ！トップブランド確立事業【デジタル田園都市国家構想交付金】		担当	秋田米ブランド推進チーム		
事業年度	令和4～7	事業主体	県、秋田米新品種ブランド化戦略本部	当初予算額	103,034千円	
事業目的	「サキホコレ」が全国トップブランドとしての地位を確立するため、高品質な米の安定供給に向けた生産対策、訴求力のあるブランドイメージと販売チャネルの構築を目指す流通・販売対策、認知度と関心を高めるための戦略的な情報発信など各種対策を総合的に実施する。			財源	国庫	49,882千円
					諸収入	7千円
					一般	53,145千円
				訳		
実施内容	<p>1 事業内容</p> <p>(1) 確かな品質で安定供給できる生産の推進事業 16,928千円 (◎7,952千円、◎7千円、○8,969千円) 品質・食味の一層の向上に向け、栽培試験や技術指導を行うとともに、生産拡大に対応した生育診断・品質予測技術を開発するほか、環境に配慮した生産を推進する。</p> <p>①高品質を担保する生産の推進 ア 施肥反応試験、肥効調節型肥料試験（農業試験場）、食味関連調査（32点） イ タイムリーな技術情報の提供 （ア）技術普及展示ほの設置（20か所、697a） （イ）技術情報の提供（サキホコレ技術情報の発行、SNS等を活用した技術情報の提供） （ウ）指導者研修会・生産者研修会の開催（座学各2回、現地検討会各3回） ウ 区分集荷体制の構築（巡回指導、食味分析計の測定値の補正、品質・出荷基準合格印の製作・配布）</p> <p>②需要の拡大に対応した生産の推進 ア マイスターによる新規生産者等への指導体制の構築、生産者協議会の開催による技術の研鑽 イ データに基づく栽培管理による高品質・良食味生産の推進 ICTを活用した生育診断や栽培管理、ほ場段階での玄米タンパク質含有率予測技術の開発 ウ 作付推奨地域編入に向けたデータ収集（栽培試験35地区・1,182a）</p> <p>③消費者が共感できる栽培体系の推進 ア 特別栽培のスタンダード化に向けた栽培試験（農業試験場、現地4か所） イ サキホコレ高付加価値商品づくり支援事業 耕畜連携による循環型農業モデルの育成や高付加価値商品づくりに対する支援 （ア）対象者：JA等（3地区） （イ）助成対象：米穀専門店等との意見交換、産地への招へい、栽培実証ほの設置等 （ウ）補助率：1/2以内（上限300千円）</p> <p>(2) トップブランド米の地位確立に向けた流通・販売対策事業 11,849千円 (◎5,913千円、○5,936千円) 総合プロデューサーの監修の下にプロモーション等の統一的な展開を図り、訴求力のあるブランドイメージを構築するとともに、認知度とブランド力を高めるための効果的な販売チャネルを確保する。</p> <p>①ブランド化総合プロデュース 「サキホコレ」のブランド展開に関する企画・提案、指導・助言等</p> <p>②流通・販売促進活動 登録取扱店の拡大、贈答商品の開発、ネット通販の拡大、海外品種登録（中国、韓国）</p> <p>(3) 認知度と関心を高めるための戦略的な情報発信事業 68,554千円 (◎33,541千円、○35,013千円) 全国に向けて戦略的に情報を発信し、認知度を高め販売促進につなげるとともに、県内から応援する気運を醸成する。</p> <p>①プロモーション ア TVCMの放映、各種広告の活用 イ イベント・キャンペーンの実施 田植え・稲刈りイベント、先行予約キャンペーン、量販店販促キャンペーン、高級ホテル等での提供、贈答キャンペーン ウ ファン作りのための取組（学校給食、農業系高校での栽培実習、サポーター企業の登録等）</p> <p>②推進活動 SNS・ウェブサイト等の活用</p> <p>(4) ブランド化戦略推進体制整備事業 5,703千円 (◎2,476千円、○3,227千円) 「秋田米新品種ブランド化戦略本部」の円滑な運営を図るとともに、「秋田米新品種ブランド化戦略」に基づく取組を推進する。</p> <p>①秋田米新品種ブランド化戦略本部の運営 本部会議及び専門部会（各年2回）の開催、生産者協議会の開催等</p>					